



第58回
栃木県公衆衛生学会抄録集

令和2（2020）年9月2日（水）

栃木県総合文化センター
サブホール、第1会議室、第2会議室、第3会議室

栃木県公衆衛生協会

栃 木 県

趣 旨

快適で良好な環境のもとで、生涯に渡って健やかな生活を送ることは、すべての県民の願いです。

しかし、医学の進歩、公衆衛生及び生活水準の向上にもかかわらず、健康を阻害する課題は依然として多く、適切な解決が必要とされています。

そこで、県内の公衆衛生関係者が一堂に会し、健康及び環境問題に対する認識を更に深め、問題解決への意欲を新たにするとともに、関係者の資質の向上と県民の公衆衛生、環境保全に対する関心を高めるため、公衆衛生大会及び公衆衛生学会を開催します。

また、救急医療及び救急業務に対する県民の正しい理解と認識を深め、かつ、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、救急医療週間記念大会をあわせて開催するものです。

第 6 0 回 栃 木 県 公 衆 衛 生 大 会
第 5 8 回 栃 木 県 公 衆 衛 生 学 会
令 和 2 (2 0 2 0) 年 度 救 急 医 療 週 間 記 念 大 会

プ ロ グ ラ ム

I 公衆衛生大会・公衆衛生学会・救急医療週間記念大会式典

- 1 開 会 (1 0 : 3 0)
- 2 式 辞 大会長 栃木県知事 福田 富一
- 3 挨 拶 学会長 栃木県公衆衛生協会会長 稲野 秀孝
(栃木県医師会会長)
- 4 表 彰 保健衛生事業功労者 知事表彰
〃 大会長表彰
救急医療功労者 知事表彰
公衆衛生学会発表優秀者 学会長表彰
- 5 来賓祝辞
- 6 受賞者代表挨拶
- 7 閉 会 (1 1 : 0 0)

Ⅱ 公衆衛生学会

1 口演発表

(13:30)

- ① 第1会場 (栃木県総合文化センター サブホール)
演題区分 生活習慣病・メタボリックシンドローム、疫学・保健医療情報
座長 中村 好一 (自治医科大学教授)
〃 小沼 一郎 (一般社団法人栃木県医師会副会長)
〃 大原 智子 (参事兼県東健康福祉センター所長)
- ② 第2会場 (栃木県総合文化センター 第2会議室)
演題区分 疫学・保健医療情報、ヘルスプロモーション、保健行動・健康教育、親子保健・学校保健、環境保健、食品衛生・薬事衛生
座長 小橋 元 (獨協医科大学教授)
〃 草野 英二 (一般社団法人栃木県医師会常任理事)
〃 渡辺 晃紀 (県西健康福祉センター所長)
- ③ 第3会場 (栃木県総合文化センター 第1会議室)
演題区分 難病・障害の医療と福祉、精神保健福祉、感染症、産業保健、環境保健
座長 天野 託 (精神保健福祉センター所長)
〃 塚田 三夫 (安足健康福祉センター所長)
〃 八木沢 和夫 (栃木県生活衛生課長)
- ④ 第4会場 (栃木県総合文化センター 第3会議室)
演題区分 食品衛生・薬事衛生、環境保健
座長 高梨 弘幸 (栃木県環境保全課長)
〃 加藤 治 (栃木県薬務課長)

2 口演終了

(15:00)

第58回栃木県公衆衛生学会の会場別演題目次

No.欄に○印が付いているものは誌上発表

第1会場

(生活習慣病・メタボリックシンドローム、疫学・保健医療情報)

No. 1 ~ 2 座長 中村 好一 (自治医科大学教授)
 No. 3 ~ 4 座長 小沼 一郎 (一般社団法人栃木県医師会副会長)
 No. 5 ~ 6 座長 大原 智子 (参事兼県東健康福祉センター所長)

No.	演 題	発表者名	発表者所属	区 分	頁	予定時刻
1	栃木県脳卒中発症登録者(2015~2017年度)への季節等の影響の検討	青木 悠人	保健環境センター	生活習慣病・メタボリックシンドローム	13	13:35
2	栃木県県東地区における脳卒中発症者の退院時機能障害に関連する要因について	荒井 雅俊	栃木県健康増進課	生活習慣病・メタボリックシンドローム	16	13:45 13:55
3	特定健診受診率の異なる栃木県北部2市の比較 ~国保データベース等を活用して~	星野 眞有美	栃木県国保医療課	生活習慣病・メタボリックシンドローム	19	14:00
4	国民健康保険被保険者における特定健康診査の効果検証	田口 久美子	栃木県国民健康保険団体連合会	生活習慣病・メタボリックシンドローム	22	14:10 14:20
5	肺がん検診における自覚症状別の検討	中村 唯	(公財)栃木県保健衛生事業団	生活習慣病・メタボリックシンドローム	25	14:25
6	大腸がん検診における精検受診率向上のための取り組みの検討	石川 みなみ	(公財)栃木県保健衛生事業団	生活習慣病・メタボリックシンドローム	28	14:35
⑦	県内市町における特定健診受診率の関連について	栗田 淳弘	栃木県保険者協議会	生活習慣病・メタボリックシンドローム	31	
⑧	栃木県のがん罹患状況等に係る考察	青木 和教	栃木県健康増進課	生活習慣病・メタボリックシンドローム	34	
⑨	栃木県における市町村がん検診と都道府県がん登録によるがん検診精度管理支援事業	大木 いずみ	(地独)栃木県立がんセンター	疫学・保健医療情報	37	

第2会場 (疫学・保健医療情報、ヘルスプロモーション、保健行動・健康教育、 親子保健・学校保健、環境保健、食品衛生・薬事衛生)

No. 1 ~ 2 座長 小橋 元 (獨協医科大学教授)
 No. 3 ~ 4 座長 草野 英二 (一般社団法人栃木県医師会常任理事)
 No. 5 ~ 6 座長 渡辺 晃紀 (県西健康福祉センター所長)

No.	演 題	発表者名	発表者所属	区 分	頁	予定時刻
1	終末糖化産物(AGEs)を指標とした高齢者におけるかんぴょうパウダーの生活習慣病予防及び改善効果	高石 雅樹	国際医療福祉大学	疫学・保健医療情報	43	13:35
2	地球温暖化が県内水辺環境に与える影響の把握に関する基礎研究	人見 敬一	栃木県保健環境センター	環境保健	46	13:45 13:55
3	医療機器のバーコード表示 ～バーコードの利活用～	宮本 大	株式会社ナカニシ	食品衛生・薬事衛生	49	14:00
4	腎臓検診実施状況報告と男子尿蛋白陽性率の上昇要因に関する検討	所 晃子	(公財)栃木県保健衛生事業団	親子保健・学校保健	52	14:10 14:20
5	乳児家庭全戸訪問事業(赤ちゃん訪問)を通して見えた母子の実態 第5報—新たにEPDS・質問票Ⅲを実施後の陽性者と継続支援—	菊地 美砂子	真岡市こども家庭課	親子保健・学校保健	55	14:25
6	はじめての赤ちゃん講座の事業評価について ～講座受講時アンケートおよびWebを活用した事後アンケートからの考察～	浮ヶ谷 綾矢子	宇都宮市姿川地区市民センター	親子保健・学校保健	58	14:35
⑦	地域活動における「健康見える化マップ」の活用についての検討	須藤 加奈	日光市健康課	ヘルスプロモーション	61	
⑧	新成人に対する喫煙防止教育の効果測定のための調査を実施して	上野 桂	日光市健康課	保健行動・健康教育	64	

第3会場

(難病・障害の医療と福祉、精神保健福祉、感染症、産業保健、環境保健)

No. 1 ~ 2 座長 天野 託 (精神保健福祉センター所長)
 No. 3 ~ 4 座長 塚田 三夫 (安足健康福祉センター所長)
 No. 5 ~ 6 座長 八木沢 和夫 (栃木県生活衛生課長)

No.	演 題	発表者名	発表者所属	区 分	頁	予定時刻
1	措置入院者の退院後支援における試行運用事例から見た精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について	横田 友理恵	県北健康福祉センター	精神保健福祉	69	13:35
2	栃木県精神保健福祉センターにおけるギャンブル障害の支援活動と相談状況	杉山 和平	精神保健福祉センター	精神保健福祉	72	13:45 13:55
3	難病患者等への災害支援体制構築における保健所の役割と課題	舟迫 香	烏山健康福祉センター	難病・障害の医療と福祉	75	14:00
4	産業看護職が個別支援を行うための望ましい相談室の構成要素	忽那 洋子	(公財)栃木県保健衛生事業団	産業保健	78	14:10 14:20
5	腸管出血性大腸菌(EHEC)の検出法の検討	佐々木 優	県北健康福祉センター	感染症	81	14:25
6	簡易専用水道検査における過去10年間の行政報告の検証から見る貯水槽水道の現状と課題	田邊 大輔	(公財)栃木県保健衛生事業団	環境保健	84	14:35
⑦	芳賀郡における医療的ケアを要する障がい児の災害時の課題について	齋藤 祐希	県東健康福祉センター	難病・障害の医療と福祉	87	

第4会場

(食品衛生・薬事衛生、環境保健)

No. 1 ~ 3 座長 高梨 弘幸 (栃木県環境保全課長)

No. 4 ~ 6 座長 加藤 治 (栃木県薬務課長)

No.	演 題	発表者名	発表者所属	区 分	頁	予定時刻
1	新環境基準項目(底層DO等)のモニタリング手法及び評価手法の構築に関する研究(第3報)	佐々木 貞幸	栃木県保健環境センター	環境保健	93	13:35
2	県内の環境中に排出される廃プラスチック類に関する調査(第1報)	神野 憲一	栃木県保健環境センター	環境保健	96	13:45
3	栃木県におけるPM2.5の特性把握	佐藤 翔大	栃木県保健環境センター	環境保健	99	13:55 14:05
4	新注射剤棟立ち上げに伴うバリデーションの実施について	茂呂 宰	シミックCMO株式会社	食品衛生・薬事衛生	102	14:10
5	硝酸イソソルビドを有効成分とする先発医薬品と後発医薬品の規格試験について	亀田 陽亮	栃木県保健環境センター	食品衛生・薬事衛生	104	14:20
6	品質情報への取り組み事例紹介	東爪 朗	全薬工業株式会社	食品衛生・薬事衛生	107	14:30